

# 祝 JRC部

## 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

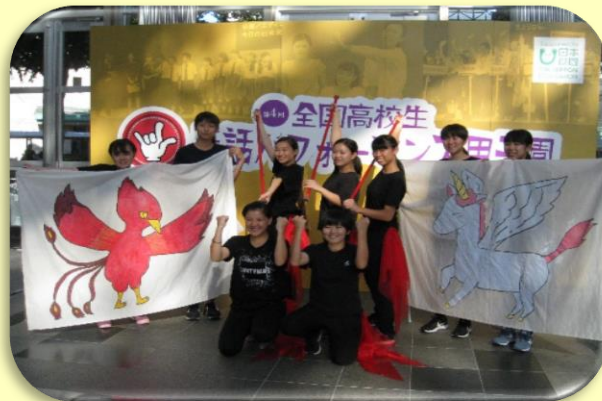
# 準優勝

10月1日(日)鳥取市のとりぎん文化会館(梨花ホール)で行われた「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」において、JRC部が準優勝を果たしました。「誰もが楽しめる舞台」を目標に、ディズニーショーの「ミシカの伝説」を舞台で再現しました。演劇(手話劇)・手話歌・ダンスをミックスして表現し、かけ声や手拍子で会場が一つになれるパフォーマンスを披露してきました。100%の力を出し切れたとても良い演技で、会場は盛大な拍手で包まれました。

吉村さん、柴田さん、鈴木さん、牧田さん、藤井さん、岡田さん、小渡さん(後列)



最後の練習での手話指導



荒木さん、飯田さん(前列)



演技後のインタビューで  
TVクルーももらい泣き



交流会で他校生に  
手話と筆談で本校を紹介



大会の様子(手話劇)



大会の様子(ダンス)

↓ 準優勝関連の新聞記事 ↓

### ★杏和高が手話甲子園準V



手話を交えた歌やダンス、演劇の表現力や正確性を競う第四回「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が一日、鳥取市で開かれ、奈良県立ろう学校が二度目の優勝を勝ち取った。準優勝は愛知県立杏和高Ⅱ写真。十四道府県の計二十チームが出場。奈良県立ろう学校は「いのちのつながり」をテーマに、音楽に乗せて歌詞を手話で表す手話歌などを披露。障害者の感じている疎外感を表現した。審査員長のろう者で演出家庄崎隆志さんは「健常者との高い壁を崩していこうとするメッセージが伝わってきた」と講評した。

## 杏和高「練習の成果出せた」

### 「手話甲子園」準V

手話を交えたダンスや歌などの表現力を競う「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」で、杏和高校（稲沢市）が準優勝した。生徒らは「練習の成果が出せた」と大喜びだ。

大会は1日に鳥取市であり、予選を通過した全国20チームが参加。3年連続出場の場合はJRC（青少年



手話パフォーマンス甲子園で準優勝した杏和高校JRC部の部員たち。稲沢市祖父江町

赤十字）部の9人が東京デイズアリーナのショーを再現した演劇やダンスを披露して会場を盛り上げた。荒木麻生さん（2年）は「優勝を逃して悔しかったけど、出来は200%。最高でした」。飯田真世さん（同）は「障害のある人もない人も、掛け声や手拍子をしてくれたのがうれしかった」と振り返った。

顧問の森雅子さんは「わかりやすい手話表現やダンスが評価された。練習ではそろわなかったフォーメーションが本番で初めてできるなど驚かされました」と話した。（中野龍三）